

テクニカルライティング・事実と意見の区別・例文 (2003.12.15)

例文 1

M社製のOSは世界中の多くのユーザーに信頼されている。このことは、製品のシェアの高さによって容易に裏付けられる。また、高名なITアナリストのA氏も、○月×日付けのB誌掲載のインタビューでその信頼性を絶賛している。

例文 2

大磯は、冬、東京より暖かいと信じられているが、私は、夜は東京より気温が下がるのではないかと思う。夜間、大磯のほうが低温になることに不思議はない。暖房その他の熱源が少ないし、第一、東京にくらべてはるかに空気が澄んでいて、夜は地面から虚空に向かってどんどん熱が逃げて行くからである。

(木下是雄、『レポートの組み立て方』、ちくま学芸文庫、1994、p.28)

例文 3

事故直前には、機は、おそらく時速350キロで南東に向かって飛んでいた
(上掲書、p.163)

例文 4

A氏の節によれば、群発地震の後でイサキやイワシの漁獲量が激減したのは、地震で海底が陥没したり、海中の崖がくずれたりしたので海中が濁り、磯付きのイサキや沿岸の浅いところを回遊するイワシがこれをきらったためだろうという。

(上掲書、p.164)

例文 5

ここには本来新聞から抜粋された文例（読売新聞、2003年12月11日（木）付、朝刊第33面（地域）より抜粋）が掲載されているのですが、インターネット上に公開すると著作権等の問題が生ずるおそれがあるため、このpdf版では削除しました。必要な方はスタッフから配布用のプリントを直接受け取ってください。